

事後評価結果（平成25年度）

担 当 課：兵庫県県土整備部道路街路課
 担当課長名：田中 剛

事業名	地域高規格道 鳥取豊岡宮津自動車道 一般国道178号 余部道路	事業区分	地域高規格道路	事業主体	兵庫県	
起終点	自：美方郡香美町香住区森 至：美方郡香美町香住区余部	延長	5.3km			

事業概要
 本道路は、高速道六基幹軸の日本海沿岸軸の一部、さらには、環日本海地域における交流を強化する地域高規格道路「山陰近畿自動車道（鳥取豊岡宮津自動車道）」の一部区間として、広域高速道路ネットワークを形成する道路である。

事業の目的・必要性
 本道路は、高速道路空白地帯である日本海沿岸地域において、隣接生活圏への移動時間を短縮することで、交流の促進、産業の活性化、観光の振興等、地域の自立的、主体的な活動を支援する。また、異常気象時通行止め区間、幅員狭小区間等の現道の悪条件を解消するとともに、三次救急医療機関へのアクセス性向上により地域の安心・安全の向上を図る。



事業の 効果等	事業期間	事業化年度：平成12年度 都市計画決定：—	用地着手：平成13年度	工事着手：平成14年度	供用年（前）：/H22 （実）：/H22	変動	1.00倍
	事業費	計画時（名目値）：一億円/227億円 （暫定/完成） （実質値）：一億円/242億円	実績（名目値）：一億円/226億円 （暫定/完成） （実質値）：一億円/260億円	（実質値）	（実質値）	変動	—
	交通量（当該路線）	計画時（暫定/完成）：—台/日 / 9,200台/日	実績（暫定/完成）：—台/日 / 4,100台/日	（暫定/完成）	（暫定/完成）	変動	45%
	旅行速度向上（供用前現道→当該路線）	34.1 km/h → 60.7 km/h （供用前年次）H22年度 （供用後年次）H23年度	交通事故減少（供用前現道→供用後現道）	5件 → 3件 （供用前年次）21年度 （供用後年次）H23年度			
費用対効果分析結果（当初）	B/C：1.8	総費用：249億円 事業費：242億円 維持管理費：7億円	総便益：459億円 走行時間短縮便益：367億円 走行経費減少便益：65億円 交通事故減少便益：27億円	基準年：平成21年			
費用対効果分析結果（事後）	B/C：1.9	総費用：267億円 事業費：260億円 維持管理費：7億円	総便益：495億円 走行時間短縮便益：418億円 走行経費減少便益：56億円 交通事故減少便益：21億円	基準年：平成25年			
事業遅延によるコスト増	費用増加額：—億円	便益減少額：—億円					
事業遅延の理由	—						

	<p>客観的評価指標に対応する事後評価項目</p> <p>①移動時間の短縮 ・隣接する香住道路も活用し、豊岡市街地への移動時間短縮（移動時間：31分→13分）</p> <p>②走行性の向上 ・幅員狭小、線形不良、冬期堆雪時のすれ違い困難箇所等の解消</p> <p>③交通渋滞の解消 ・香住市街地の渋滞交差点の解消（最大渋滞長：100m→解消）</p> <p>④防災機能の向上 ・異常気象時通行規制区間の解消</p> <p>⑤三次救急医療施設へのアクセス性向上 ・3次救急医療施設である豊岡病院（豊岡市）への救急搬送時間の短縮（搬送時間：56分→38分）</p> <p>⑥並行区間の交通量減少による安全性向上 ・国道178号（交通量）：交通量約5,800台/日→約2,100台/日 ・国道178号（大型車）：交通量603台/日→95台/日</p> <p>⑦産業の活性化 ・本道路周辺企業の業務対象エリア拡大</p> <p>⑧観光振興 ・ジオパークロードとして位置づけられ、山陰海岸ジオパークの観光振興に寄与</p>
	<p>その他評価すべきと判断した項目</p> <p>特になし。</p>
<p>事業による環境変化</p>	<p>環境影響評価に対応する項目</p> <p>本道路は、環境影響評価を実施しており、工事中の濁水対策や貴重植物の移植等の環境対策を実施している。また、供用後も貴重動物の生息状況確認調査、貴重植物の移植後モニタリング調査などの事後監視調査を実施し、適切な環境対策を実施している。</p> <p>その他評価すべきと判断した項目</p> <p>特になし。</p>
	<p>事業評価監視委員会の意見</p> <p>当該事業は検証の結果、期待していた整備効果を確認することができた。</p>
	<p>事業を巡る社会経済情勢等の変化</p> <p>沿線地域である新温泉町、香美町の人口は減少傾向であるが、自動車保有台数はほぼ横ばいであり、自動車交通への需要は変わっていない。</p>
	<p>今後の事後評価の必要性及び改善措置の必要性</p> <p>移動時間の短縮や交通渋滞解消等による交通の円滑化、異常気象通行規制区間の代替ルート確保や三次救急医療施設へのアクセス性向上等による安全・安心の確保、産業振興や生活環境の改善等の整備効果が発現していること、また、アンケート結果から高い満足度が得られていることから、今後の事後評価及び改善措置の必要性はない。</p>
	<p>計画・調査のあり方や事業評価手法の見直しの必要性</p> <p>特になし。</p>
	<p>特記事項</p> <p>特になし。</p>

※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。